

# 文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第27回）議事概要

開催日及び場所	平成26年6月25日（水） 文部科学省 会計課会議室	
出席委員 (敬称略)	○委員長 有川 博（日本大学 総合科学研究所 教授）  ○委員 清水 幹裕委員（弁護士） 松浦 亨委員 （北海道大学病院 病院長補佐（病院経営・情報管理担当）、臨床教授） 和田 義博委員（公認会計士）	
審議対象期間	平成26年1月1日～平成26年3月31日	
個別審査案件	10件	○議事 (1) 平成25年度第4四半期の物品・役務等契約に係る審査 (2) その他
一般競争入札方式	8件	
最低価格方式	5件	
総合評価方式	3件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	2件	
企画競争	1件	
公募	0件	
競争性のない随意契約	1件	
不落随意契約	0件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	個別に検討等を要するものはあるが、全体としては特に問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>平成25年度第4四半期の物品・役務等契約に係る審査について（以下、審査順）</p> <p>① 家庭教育支援チームの取組実践事例映像資料の作成 一式【一般競争入札（最低価格落札方式）】（大臣官房会計課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画競争ではなく、一般競争入札（最低価格落札方式）を行うこととした理由は何か。</li> <li>・事業は平成20年度ぐらいから実施しているようだが、実践事例作成の発注が年度末になってしまった理由は何か。</li> </ul> <p>② 高等学校等修学支援金に係る補助金事務処理システムの機能改修 一式【一般競争入札（最低価格落札方式）】（大臣官房会計課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価落札方式ではなく、最低価格落札方式にした理由は何か。</li> <li>・一者応札となった理由は何か。</li> <li>・予定価格算定の際の工数について、その実態を把握できる工夫が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような内容の映像資料を作成してもらうかがほとんど決まっていたため、企画競争ではなく、一般競争入札（最低価格落札方式）で対応可能と判断した。</li> <li>・取組を始めて5年が経過し、これまでの課題を踏まえた今後の取組みを協議会で審議しており、そこでの議論の内容を踏まえながら映像資料を作成する必要があったため、スケジュール上年度末の発注になった。</li> <li>・政府調達に係る自主的措置で、総合評価落札方式の対象となる80万SDRを超えなかったため、最低価格落札方式で行った。</li> <li>・システムの著作権を当初の製造元ではなく、文科省が持っているため一般競争を行っているが、他の業者は参加しにくかったのではないか。</li> <li>・今後の検討材料とします。</li> </ul>

③ 公立学校施設整備費補助金等の執行事務管理システムの改修 一式【随意契約（競争性のない随意契約）】（大臣官房会計課）

・競争性のない随意契約となった理由は何か。

・契約実績も踏まえた予定額の算出を検討いただきたい。

④ 平成25年度先導的の大学改革推進委託事業「米国におけるAP（アドバンストプレイスメント）の実施状況等に関する調査研究【一般競争入札（総合評価落札方式）】（高等教育局）

・一者応札になっている理由をどう考えるか。

・委託契約の場合は、最後に精算があるが、実態を把握して当初の契約額より少なくて済んだかチェックしているか。

⑤ 原子力損害賠償に関する分析調査【一般競争入札（総合評価落札方式）】（研究開発局）

・一者応札になっている理由をどう考えるか。

・入札の時期が12月となった理由は何か。

・当該システムの著作権、改版權がシステムを構築した者に帰属していて文部科学省に帰属していないため、当該者の競争性のない随意契約となった。

・今後は、実績を考慮できるものについては考慮したい。

・納期に十分な時間がなかった可能性があると考ええる。

・確認している。今回の件では、海外出張に関しては、数十万円単位で安い費用になっている。

・技術的に特定の業者だけにしかできないというものではないので、特段の原因はわからない。

・年に一回活動報告をまとめているが、年単位で整理しているためこの時期となった。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月までのデータを単年度で整理するとなると、履行期間が短くなるのではないか。</li> </ul> <p><b>⑥ 柔道指導の手引映像資料等作成事業【随意契約（企画競争方式）】（スポーツ・青少年局）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般競争入札（総合評価落札方式）ではなく企画競争を行った理由は何か。</li> <li>・企画競争方式のやり方には、全省統一的なルールがないため、評価方法など制度自体に対する問題意識を持っている。</li> </ul> <p><b>⑦ 平成25年度無形文化財「わざ」の理解促進事業に係る芸能記録の内容確認及びデジタル化一式【一般競争入札（最低価格落札方式）】（文化庁）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一者応札から複数者の応札になった理由をどう考えるか。</li> <li>・公告から履行期間が短い、毎年やる事業であれば、もっと早く発注できるのではないか。その点が一者応札になる原因ではないか。</li> </ul> <p><b>⑧ 平成25年度「劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究【一般競争入札（総合評価落札方式）】（文化庁）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発注が年度末になってしまった理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発注方法等、工夫したいと思う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価落札方式が認められている契約類型に該当しないことから、今回は、企画競争方式で行った。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公告期間を延長したことが、複数者の応札になった1つの要因であると考えます。</li> <li>・御指摘のとおり、早く発注できるよう改善していきたい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の成立時期が1か月半程度遅れたという特殊な事情があったため、発注が年度末になってしまった。今後は注意したい。</li> </ul>
--	--

⑨ 研究所内に設置する外部公開サーバー等に関するセキュリティ検査業務 一式【一般競争入札（最低価格落札方式）】（国立教育政策研究所）

- ・一者応札になっている理由をどう考えるか。
- ・年度末にかけてこの事業を行った理由は何か。
- ・今回の反省を踏まえ対応策を検討してもらいたい。

⑩ スコーパスカスタムデータの追加更新業務【一般競争入札（最低価格落札方式）】（科学技術・学術政策研究所）

- ・業者が限定されるのは、データからくる制約があるのか。

**【総括】**

- ・第4四半期の発注は一者入札につながるようになるので、今後の第4四半期の審査に当たっては、発注時期を厳しく審査していきたい。
- ・今回は、個別に検討等を要するものはあるが、全体としては問題なく処理されている。

- ・説明会には2者参加していたが、入札に参加しなかった1者に確認したところ同時期に他の契約を結んでしまい、こちらの入札に参加できなかったとのことであった。
- ・事業を行う準備が遅れてしまったため、年度末になってしまった。
- ・実施時期を前倒しするようにします。

- ・論文を集約している企業というのが世界的にも少ない。ただ、落札した企業が作成したデータを日本企業が買って日本で展開するということは十分考えられる。